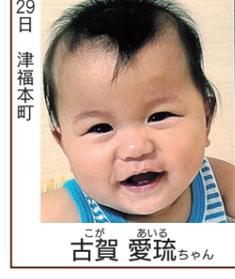
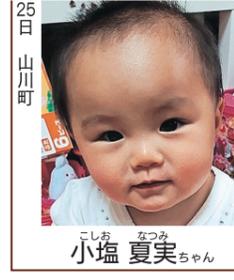
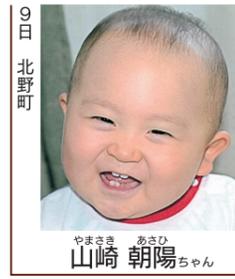
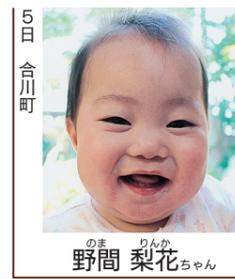
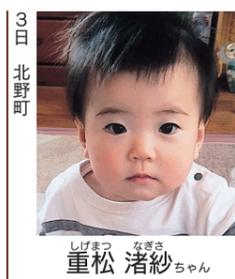


# わが家の天使

## 7月生まれの赤ちゃん

みんなおめでとう!

**10月に満1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの応募方法**  
**【写真】** 判程度のバスタップの縦写真で大きく鮮明に写っていて頭部が切れていないもの  
**【定員】** 28人・抽選  
**【応募締切】** 9月18日(火) (必着)  
**【応募方法】** 写真の裏に住所、氏名・ふりがな、保護者名、生年月日、性別、電話番号を書いて申込先へ。複数の応募は不可。写真は返却しません  
 広報課 (☎ 830・8520 住所記入不要、☎ 30・9119、FAX 30・9702)



小骨が多いエツは骨切りで食べやすくなります



## 城島の夏の風物詩

### ◆ エツ祭

6月24日に、城島町の六五郎橋河川敷公園で「城島エツ祭」が開催され、市内外から約3500人が参加しました。  
 会場には、1300匹のエツを準備。すり身を使ったエツバーガーや空揚げ、南蛮漬けなどの販売があり、筑後川初夏の味覚を楽しみました。その他、エツの骨切りや漁の投げ網体験、ヨシの葉ちまきの実演などのイベントもあり、家族連れなどでにぎわいました。



あらゆる差別を無くすために必要なことを訴える組坂繁之さん

### ◆ 大人が伝える大切さ

**◆ 同和問題啓発強調月間**  
 に合わせて、7月1日、久留米シティプラザで同和問題講演会が開かれ、市民など約1300人が参加しました。  
 世界人権宣言中央実行委員会副実行委員長の組坂繁之さんが、「世界人権宣言70周年と部落差別解消推進法」をテーマに講演。差別を無くすため、周囲の大人が子どもへ人権問題を正しく教えることの大切さを訴えました。

## 市政の動き

### 専門家の視点で効果的な運営へ

久留米シティプラザをより効果的に運営するため、久留米市は、平成30年2月にプロジェクトチームを設置し、利用状況の分析や課題の洗い出しなどを行いました。その結果を、専門家の視点を取り入れた施設の運営につなげるため、有識者による運営委員会を設置します。

今後、文化・交流・活力の創造という施設の設置目的を踏まえた最適な運営のあり方を検討します。  
 久留米シティプラザ総務課 (☎ 0942・36・3000、FAX 0942・36・3087)



オープンから3年目を迎えたシティプラザ

### 住みやすいまちへ強力な連携

久留米市は、7月3日、西日本鉄道と包括連携協定を締結しました。交通拠点の利便性の向上や公共交通の維持・利用促進、観光振興、移住定住などに協働して取り組みます。

締結式で、大久保勉市長は、「30万都市にふさわしいまちに向け、西日本鉄道の持つ知見を生かし、連携してまちづくりを進めたい」と話しました。  
 総合政策課 (☎ 0942・30・9112、FAX 0942・30・9703)



協定書を掲げ記念撮影する大久保市長(右)と西日本鉄道の倉富純男社長